

令和4年1月27日

競輪関係者各位

競輪最高会議

競輪開催の継続のために

オミクロン株による国内の感染状況は、第5波（ピークまで2か月弱、感染者数最大約2万6千人/日）と比べ、「第6波」では今年に入ってから1か月弱で1日当たりの全国感染者数が初の7万人を超えるなど、急速な感染拡大が懸念されております。

この影響により、競輪事業関係者の感染者数も増加傾向にあり、また、競輪開催中に感染者が発生して開催を中止する節も出ているところです。

選手について見ると、1月11日から1月26日の2週間あまりの間に63人もの感染が確認され、また関係従事者からも7人が感染する状況となっており、今後、感染者の発生が増えると競輪の開催そのものが危惧されることとなります。

ワクチン接種は新型コロナウイルス感染症の感染を予防する効果及び重症化を予防する効果もありますが、オミクロン株の対策としても3回目接種（追加接種）により、発症予防効果が一時的に回復する可能性が示唆されています。

一方、競輪選手の2回目ワクチン接種率は、1月25日現在、48.1%と国民全体の接種率に比べて極めて低い状況で推移しています。感染拡大を防止するため、ワクチンの接種を強く推奨します。

現下の感染拡大による新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者となった場合、一定期間、競技を行うことが制約されることから、警戒感をもってより一層の注意を払わなければなりません。「自らが感染しない」「他者に感染させない」という強い意識を持って行動する必要があります。

自分自身と周囲の方を守ることと同時に競輪開催の安全・安心の確保と感染予防対策の一環としてより一層の感染対策を励行します。

競輪事業に携わる関係者の皆さんにおかれましては、ワクチン接種の有無に関わらず、競輪事業の継続のため、引き続き基本的な感染対策の徹底が重要であり、ご理解とご協力をお願いいたします。

以上